

ワールドスクータ YA100

World Scooter YA100

渡部 清 Kiyoshi Watanabe 蕭起驊 許漢權
廖乾助 李衛國 陳世民

●YMRT



図1 YA100

1 はじめに

台湾は知られているように二輪車王国である。大半がスクータであるが、まさに老若男女を問わず生活の足として深く密着している。最近の統計によると、登録保有台数は880万台に上り、総人口2,170万人に対し約2人に1台近くの割合になっており、その密着度合いの深さを伺い知ることができる。台湾でスクータに求められる重要基本機能は、使用事情と道路事情から、出足のよさ、足回りのよさ、制動力のよさであり、加えて二人乗り性と荷物の収納性が不可欠になっている。

最近の市場ニーズは、上述した基本機能を維持向上させながら、取り扱いやすさ、すなわち利便性のよさとより快適な走りを求められるようになってきた。また、スタイリングについても、機能の進化と新しさへのニーズから斬新なものが目立ち、市場に受け入れられる大きな要素ともなっている。

今回、女性にも乗りやすく、手ごろな価格で幅広い顧客層を持つ小排気量クラスのスクータ領域で、以上の市場ニーズを充分満たすYA100（台湾名：大兜風100、図1）を従来のYA90後継モデルとして、新開発した。ここにその製品概要を紹介する。

2 開発の狙い

開発のキーワードは、余裕の快適性を備えたパワフルフットワークスクータである。

前述した市場ニーズとキーワードを具現化するため、従来モデルに対して大幅な向上を図るべく、開発のテーマに下記の三項目を設定した。

(1) 利便性の大幅向上

- ① ゆったり乗れる快適な居住空間を確保する。
- ② 荷物の収容機能を充実し、使い勝手を高める。
- ③ ガソリンの給油メンテナンスを向上する。

(2) 走りの快適性向上

- ① 12インチワイドタイヤを採用し、従来との差別化を図る。
- ② 100ccのパワフルなエンジンを採用する。

(3) 時代感覚にマッチした洗練されたスタイリング

- ① 顧客層に合せた車格と機能の調和したデザインとする。

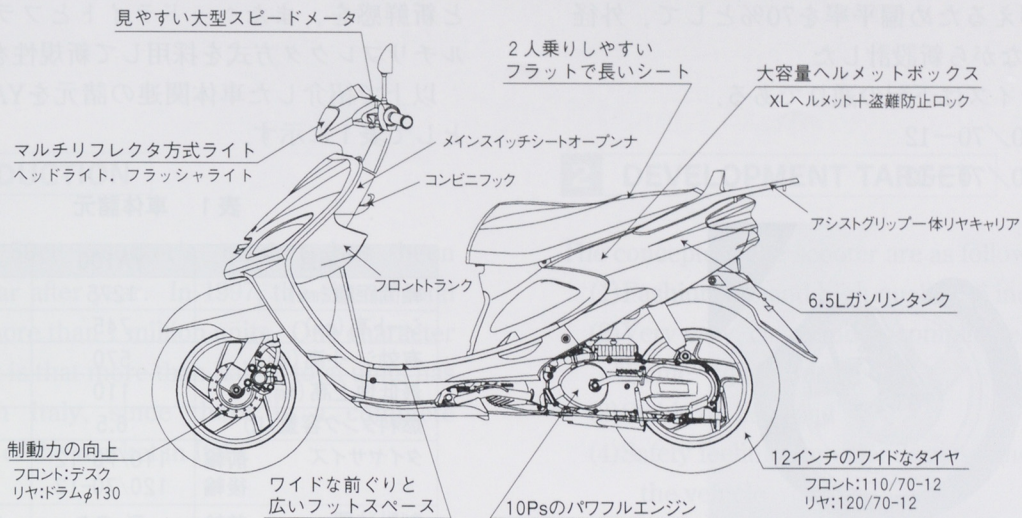


図2 車両の特長

3 仕様概要

図2に車両全体の特長を示すが、以下に各開発テーマに対する仕様と開発概要を説明する。

3.1 利便性の大幅向上

(1) 快適な居住空間の確保

スタイリングと車格とのバランスは、特に苦心した所であるが、タイヤサイズ変更に合わせて軸間距離延長を行い、ひざ元の前ぐりと足置ききのフラット面を大幅に広げ、従来の窮屈さを解消してゆったりとした足元のライディングポジションとした。フットスペースはクラス最大規模を実現した。ダブルシートも長めでフラットなデザインとして2人乗り性を高め、長距離でも乗りやすくした。

(2) 荷物収容機能の充実

シート下のデザイン空間を余す所なく使うために、ヘルメットボックスの大容量化を行ってXLサイズヘルメット容積とし、標準装備の盗難防止ロックを収納した(図3)。また、フロントトランクとコンビニフックなどを設け、日常の買い物などでの使い安さに配慮した。さらに、アルミ製のアシストグリップ一体型のリヤキャリアも装備し、日ごろの多様な使い勝手にこたえた。

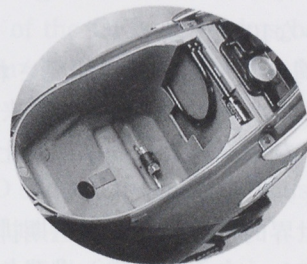


図3 ヘルメットボックス

(3) ガソリン給油メンテナンスの向上

台湾の給油所は増えつつあるが充分ではなく、郊外となると非常に少ない状況にあることから、ガソリンタンク容量に対するニーズも高い。デザインとのバランスや構造に苦心しながらシート下に配置し、クラス最大容量の6.5Lを達成した。また、メインスイッチシートオープナーを採用して、キーの差し替えなく給油を可能とした。

3.2 走りの快適性向上

(1) 12インチワイドタイヤの採用(図4)

当モデル企画の際、市場アンケートにおいて下記のような快適な走りの面でニーズが集中した。

- ①悪路でも安定して走れる
- ②長距離走行でも疲れにくい

これらの要望にこたえるため、前後のタイヤサイズをアップして走破性を高め、安定した

軽快な走行を可能にした。仕様のには、従来の10インチから12インチへタイヤ幅も大幅に広げたが、シート高を抑えるため偏平率を70%として、外径アップを抑えながら新設計した。

採用タイヤサイズは下記の通りである。

- ・前輪：110/70-12
- ・後輪：120/70-12

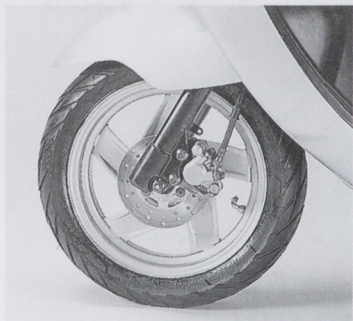


図4 12インチワイドタイヤ

(2) パワフルな100ccエンジン

先に台湾モデル用として開発された2サイクル100ccエンジンを共用し、従来の90ccより出足および最高速とも一挙に向上して、快適な走りを実現している。

一方、世界的にも厳しい第三期排ガス規制値をクリアし、さらに騒音と燃費の規制値に適合するための仕様開発は、ヤマハ発動機グループの知恵を結集し乗り越えた。

制動力の向上としては、前輪にディスク、後輪には大径のφ130ドラムブレーキを採用した。

3.3 時代感覚にマッチした洗練されたスタイリング

ジョグの上級モデルとしての車格および対象顧客層に取り扱いやすい車格に仕上げ、機能をデザインに調和させて造り上げた。

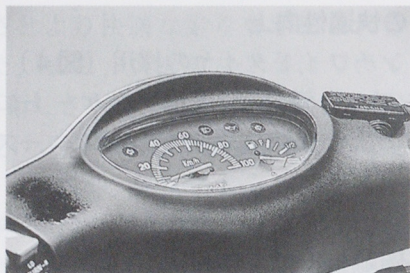


図5 スピードメータ

電装外観部品では、機能とデザインの両立としてスピードメータ（図5）の大型化で視認性向上と新鮮感を、またヘッドライトとフラッシュにマルチリフレクタ方式を採用して新規性を追及した。

以上で紹介した車体関連の諸元をYA90との比較として表1に示す。

表1 車体諸元

項目	YA100	YA90
軸間距離 (mm)	1275	1185
シート高 (mm)	745	735
有効シート高 (mm)	570	540
最低地上高 (mm)	110	95
燃料タンク容量 (L)	6.5	5.0
タイヤサイズ		
前輪	110/70-12	90/90-10
後輪	120/70-12	90/90-10
制動装置		
前輪	ディスク	ドラムφ110
後輪	ドラムφ130	ドラムφ110

4 おわりに

今回は、台湾市場の状況に触れながらYA100を紹介した。このYA100は台湾に限らず、海外に輸出するベースモデルとして企画および開発されたものである。当モデルをベースに開発された日本向けモデルが既にグランドアクシス100として登場し、活躍している。当モデル開発に際し御支援を頂いた関係各位には、誌面をお借りして厚くお礼を申しあげます。



YMRTの開発スタッフ